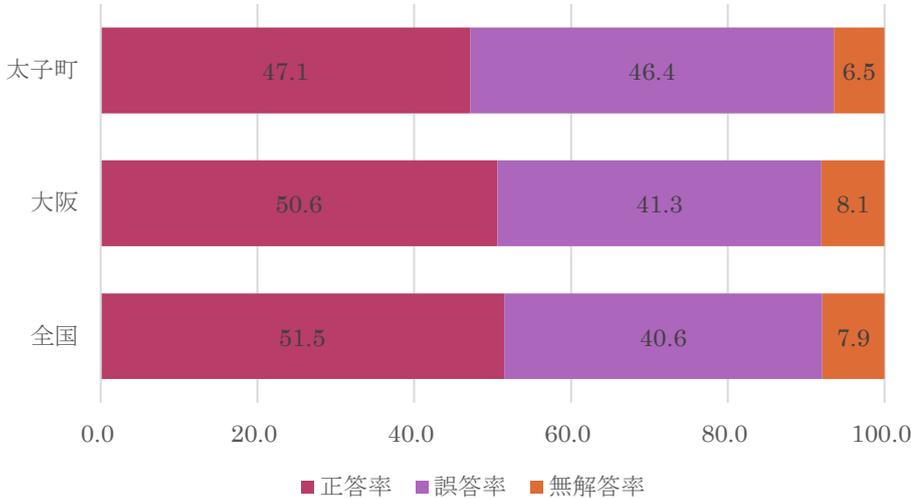


平成30年度 全国学力・学習状況調査

算数 B

正答率比較

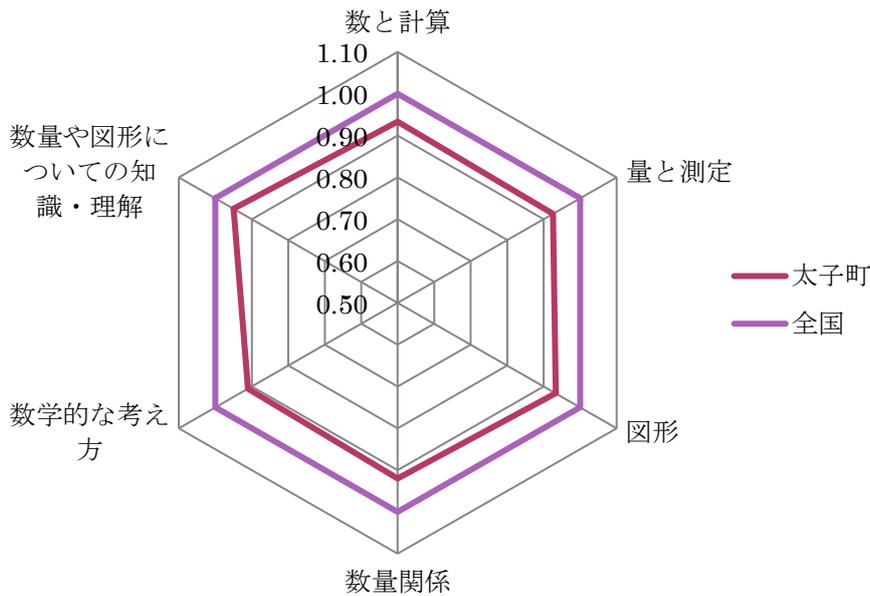
算数 B



全国の平均正答率が51.5%であるのに対し、太子町の平均正答率は47.1%であり、-4.4ポイントという結果であった。



全国平均正答率を「1」としたときの太子町の平均正答率との比較

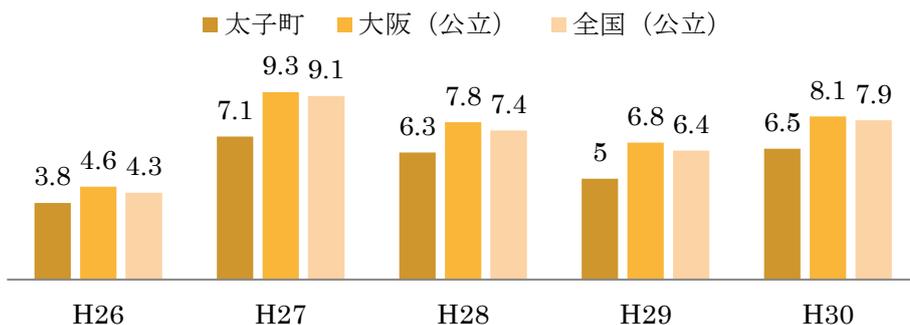


全体的に下回った。

授業においては、言葉や数、式、図、表、グラフを用いて、筋道を立てて説明したり論理的に考えたりして、自ら納得したり他者を説得したりする学習活動を行っているが、その成果が十分に出ていない。



無解答率



昨年度と比べると、1.5ポイント増えたが、全国・大阪府と比べると低く、最後までやりぬく姿勢が見られる。



成果と課題

理由を条件に関連付け根拠を明確に記述したり、規則性を解釈し、条件に合う答えを判断するなど課題がある。

また、問題に対し、答えを書こうとする姿勢は大切だが、書く内容について考えを深める必要がある。

